

平成20年度（2008）

安全報告書



（蔵王温泉スキー場：黒姫・大森ゲレンデ）

特殊索道：大森クワトロリフト

黒姫第1クワトロリフト

黒姫第2クワトロリフト

蔵王リゾート株式会社

ごあいさつ

日頃は蔵王温泉スキー場をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当スキー場における索道事業は、私ども蔵王3Rグループ（蔵王ロープウェイ・林友観光・蔵王リゾート）のほか6社の事業者によって運営されております。スキーやスノーボードのお客様に対しては、蔵王全山を自由に滑走できるスキー場内の移動手段として、また大自然の造形・神秘的な「樹氷」を観賞するお客様に対しては、樹氷地帯への交通手段として、索道（ロープウェイ・リフト）の安全な運転をご提供しております。

またグリーン期（夏季）においても、トレッキングや俯瞰見物のため、ロープウェイや夏山リフトの営業運転を行っており、「お釜」や「いろは沼・観松平」などへの“足”としてご利用いただいております。

索道事業の経営基盤は勿論、「安全第一」であります。運転の取扱い、保守整備などにおけるコンプライアンス（法令遵守）を徹底し、お客様の安全確保はもとより、快適に、そしてご満足していただけるよう、索道の運転には万全を期しておるところであります。

本年度は、輸送の安全確保を期すため、人材の教育・養成、機械設備の整備・工事、応急下降や予備原動機取扱いを中心とした各種訓練を実施するとともに2年目となる内部監査の充実を図りました。担当者から経営トップまで安全マネジメント態勢の適正機能確認が内部監査の主軸であることを認識し、取り組んでまいりました。

本報告書は、蔵王3Rグループの平成20年度の1年間の安全に対する施策や実態などをまとめたものであり、皆様にご理解をいただきたいところであります。そして、自らの取組みに不足する部分がないかなどを検証し、「改善すべきは改善する」ことを念頭に、ここに公表する次第であります。皆様からのご意見やご要望等を頂戴できますれば幸甚に存じます。



蔵王リゾート株式会社
取締役社長 大久保 靖彦

目 次

- 1 安全基本方針と重点目標
 - (1) 安全基本方針
 - (2) 重点目標

- 2 事故等の発生状況（平成 20 年度）
 - (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）
 - (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）
 - (3) インシデント（事故の兆候）

- 3 輸送の安全確保のための取組み
 - (1) 人材教育
 - (2) 応急下降訓練
 - (3) 安全確保のための諸施策
 - (4) 安全に係る内部監査の実施

- 4 当社の安全管理体制

- 5 利用者の皆様へ
 - (1) 「蔵王 3 R ニコニコキャンペーン」の展開
 - (2) アトラクションコース「なんちゃってクロス」のオープン

- 6 お問い合わせ先

1 安全基本方針と重点目標

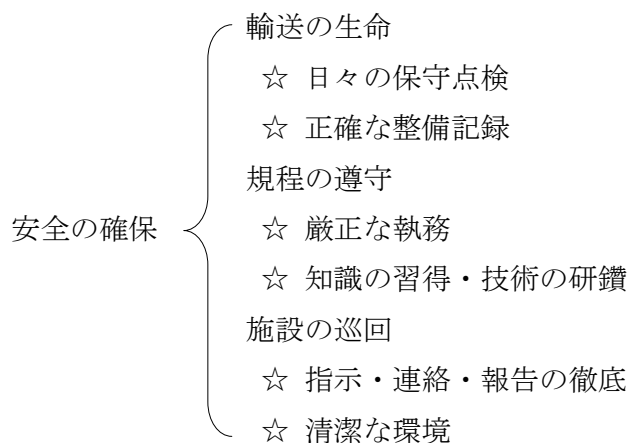
(1) 安全基本方針（当社「安全管理規定」第2条）

当社の経営理念の第一は、安全を最優先とし、社会やお客様から「信頼される蔵王3Rグループ」の構築であります。社長、役員および職員（職員に準ずる者を含む）は、次の安全基本方針に則り、輸送の安全確保を図っております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を把握するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、臆測せず確認の励行に努め、疑義のあるときは上司の判断を仰ぎ、適切に処理します。
- ⑤ 事故・災害等の発生時は、旅客の安全を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく正確、迅速に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 輸送の安全に関する技術、知識等は進んで取り入れ、研鑽に努めます。

(2) 重点目標

2008～2009 スノーシーズンにおける蔵王3Rグループの重点目標は次のとおりでありましたが、グリーン期においても引き続き目標達成に向け周知・徹底を図り、輸送の安全確保を図ります。



2 事故等の発生状況（平成20年度）

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成20年度における索道運転事故はありませんでした。引き続き運転事故防止に努めます。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）

平成 20 年度における災害による運転停止はありませんでした。

なお強風による安全確保のため、計 10 日・延 76 時間（全索道合計）において運行の一時見合わせを行っております。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成 20 年度における国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

引き続き事故防止に努めます。

3 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保のために、安全に関する社内の教育や東北索道協会主催等社外の研修にも積極的に参加して索道技術の向上や知識の習得に努めています。

平成 20 年度に実施または受講した主な教育等は次のとおりです。

（社内教育）

特殊索道運転取扱細則、安全管理規程等社内規程・規則の勉強会

10～11 月 5 名受講

運転取扱細則の再教育

12/16 18 名受講

（社外教育）

索道技術研修〔東北索道協会〕

7/10・11 1 名受講

索道技術管理員等講習〔東北索道協会〕

9/ 2・3 1 名受講

索道技術管理者研修〔東北索道協会〕

9/17 1 名受講

危険物取扱者保安講習

9/25 11/17 2 名受講

第一種電気工事士定期講習

12/ 5 2 名受講

(2) 応急下降訓練

毎年、スノーシーズン営業開始前に職員一同にて応急下降訓練（緊急時の救助訓練）等を実施しております。

平成 20 年度に実施した応急下降訓練等は次のとおりです。

黒姫第 2 クワトロリフト 応急下降訓練 12/16 21 名参加

予備原動機取扱い訓練 12/16 21 名参加

大森エレベーター閉じ込め救出訓練 12/20 4 名参加

応急下降訓練



予備原動機取扱い訓練



(3) 安全確保のための諸施策

当社では、安全の維持・向上のため整備や工事等を実施しております。

平成 20 年度に実施した主な整備・工事等はおおりのとおりです。

大森クワトロリフト	握索機オーバーホール	8 月完了
黒姫第 1 クワトロリフト	電動機オーバーホール	9 月完了
黒姫第 2 クワトロリフト	支えい索切詰工事	9 月実施
	搬器間隔変更調整工事	10 月完了

(4) 安全に係る内部監査の実施

当社では、安全マネジメント態勢が適切に確立・実施・維持され機能していることを確認するため内部監査を実施し、課題等については速やかに是正・改善処置を行っております。

平成 20 年度に実施した内部監査は次のとおりです。

経営管理部門書類検査	11/17 実施
現業部門書類検査	11/17 実施

経営トップインタビュー
現業部門施設検査

11/18 実施
12/12 実施

内部監査



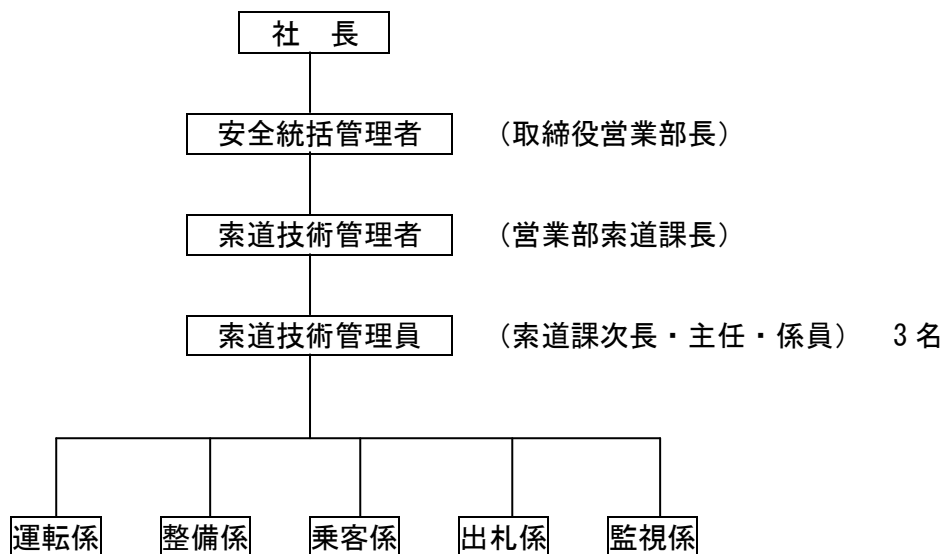
平成 21 年度 内部監査実施予定

経営トップインタビュー	10/上旬 実施予定
経営管理部門書類検査	10/上旬 実施予定
現業部門書類検査	10/上旬 実施予定
現業部門施設検査	12/中旬 実施予定

4 当社の安全管理体制（当社「安全管理規定」第 3 条、第 4 条）

当社は、索道事業における安全確保のため社長を最終的な責任者とし、安全統括管理者、索道技術管理者および索道技術管理員の有資格者を配置して役割と責任および権限を明確にした管理体制を確立しております。

有資格者の役割・責任・権限は次のとおりです。



社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する。

5 利用者の皆様へ

(1)「蔵王3Rニコニコキャンペーン」の展開

当社は、ご利用のお客様の安全を最優先に、そしてご満足していただけるようスキーシーズンのみならず年間を通してこのキャンペーン“もてなしの心での一声運動”を展開しております。お気づきの点がございましたら、何なりとお申し付けください。

① 明るい心で	『いらっしゃいませ』
② 素直な心で	『はい』
③ 積極的な姿勢で	『どうぞ』
④ 反省の態度で	『申し訳ございません』
⑤ 謙虚な心で	『お待たせいたしました』
⑥ 感謝の心で	『ありがとうございました』
⑦ お客様の状態で	『どうなさいましたか』

(2) アトラクションコース「なんちゃってスノーパーク」のオープン



大森ゲレンデに、3年目となるビギナー・ファミリー向けアトラクションコース「なんちゃってスノーパーク」をオープンし、スキーヤー・スノーボーダーの皆様からご好評をいただきました。来シーズンも安全で楽しいコース造成を考えておりますので、ぜひご利用ください。

6 お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社の安全に対する取組み等へのご意見・ご要望その他お気付きの点がありましたら、下記にご連絡ください。

平成21年4月10日

〒990-2301

山形市蔵王温泉229

蔵王リゾート株式会社

総務部 TEL 023-693-0789

FAX 023-694-9143

大森クワトロリフト TEL 023-694-9911

FAX 023-694-9910